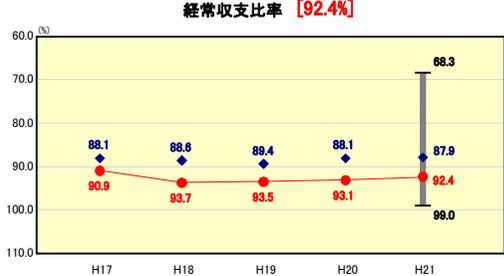


# 市町村財政比較分析表(平成21年度普通会計決算)

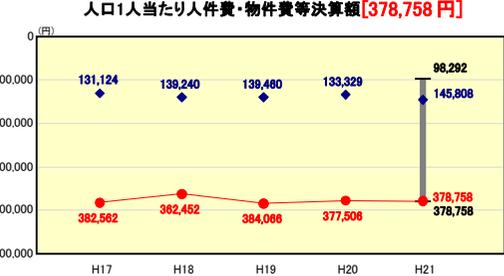
## 財政力



## 財政構造の弾力性

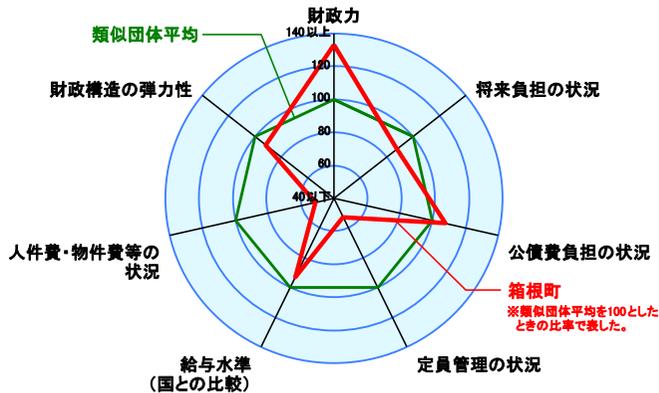


## 人件費・物件費等の状況



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

|        |    |           |                 |
|--------|----|-----------|-----------------|
| 人面     | 口積 | 13,007    | 人(H22.3.31現在)   |
| 標準財政規模 | 積  | 92.82     | km <sup>2</sup> |
| 歳入総額   | 千円 | 6,562,826 |                 |
| 歳出総額   | 千円 | 8,863,944 |                 |
| 実質収支   | 千円 | 8,575,096 |                 |
|        | 千円 | 269,290   |                 |

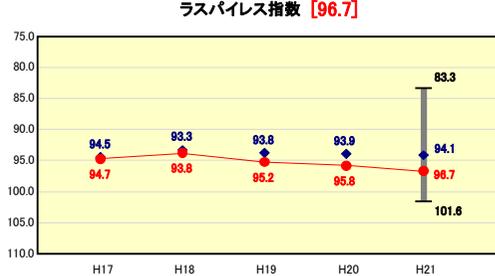


※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同グループに属する団体を言う。

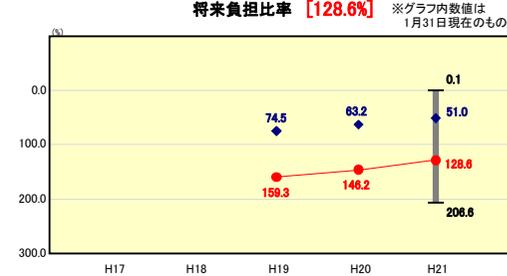
※平成21年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。 ※類似団体内平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。

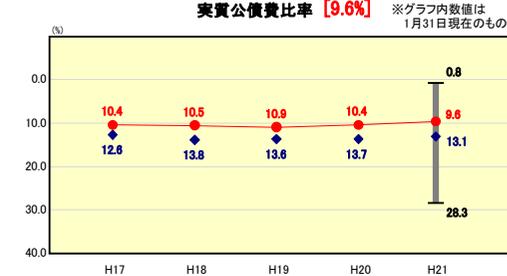
## 給与水準 (国との比較)



## 将来負担の状況



## 公債費負担の状況



## 定員管理の状況



### 分析欄

#### 【財政力指数】

類似団体、全国市町村のいずれとの比較でも高水準であるが、これは人口ベースで地方交付税が算定されているためである。当町は他の類似団体に比べ固定資産税などの税収には恵まれているものの、地形上の問題と観光地としての特性から、ごみ処理や下水道、消防救急業務などに多額の経費がかかっている。指数上は良好な数値を示しているが、他の自治体同様財政事情は極めて厳しい。

#### 【経常収支比率】

歳出比較分析表を参照

#### 【人口1人当たり人件費、物件費等決算額】

類似団体、全国市町村のいずれとの比較でも厳しい数値である。しかし、これは年間2,000万人を迎える観光地として必要な行政運営を行うために相当数の職員や多額の物件費等を要しているにもかかわらず、人口が1万3千人ほどしかないことによる。当町の特殊要因でもあり、単に人口で除して得た数をもって他の自治体と比較することはなじまないと考ええる。なお、人件費、物件費等総額の抑制は引き続きしっかりと行っていく。

#### 【将来負担比率】

平成18年度をピークに地方債残高が減少しているため、数値は減少傾向にある。同様に公営企業債等繰入金も減少していることも数値の改善に寄与している。これは、財政再建プランとそれに続く財政健全化プランに基づいて起債額や繰出金を制限(毎年度起債額5億円以内、毎年度繰出金9億円以内)しているためで、今後も数値の改善が見込まれる。

#### 【実質公債費比率】

将来負担比率でも触れたとおり平成18年度の償還ピークを過ぎたため、数値は改善傾向にある。財政健全化プランに基づく起債の制限により今後も極端に数値が悪化する事は見込まれず、長期的な視野をもって財政運営を行うことで引き続き数値の改善に努める。

#### 【人口千人当たり職員数】

人口1人当たり人件費等と同様の理由による当町の特殊要因があり、他の自治体との単純な比較にはなじまない。しかし、地形上の問題と観光地という特性から職員数が多いのは事実である。業務の外注化や非常勤職員での対応を進め、財政健全化プラン等に基づいた計画的な職員数の削減を進めていくものである。

#### 【ラスパイス指数】

ここ数年、95前後を推移している。各種手当の水準についても、国家公務員を上回って支給される傾向にある他の大、中規模地方公共団体と異なり、おしなべて国家公務員に準拠している。そのため、給与の適正化は図られていると考えている。